

## 1 県ゆかりの選手の活躍

### ➤ オリンピック

- ・県ゆかりの選手86人が出場、15人がメダリストに
- ・彩の国2020ドリームアスリート、彩の国プラチナアスリート出身選手は14人が出場

#### 【主な成績】（敬称略）

- 銀メダル 梶原 悠未（自転車トラック女子オムニウム）
- 銅メダル 並木 月海（ボクシング女子フライ級）
- 4位 柳澤 明希（アーティスティックスイミングチーム）
- 6位 上野 優佳（フェンシング女子フルール団体）

### ➤ パラリンピック

- ・県ゆかりの選手39人が出場、11人がメダリストに
- ・埼玉パラドリームアスリート出身選手は24人が出場

#### 【主な成績】（敬称略）

- 銀メダル 藤澤 潔（車いすバスケットボール）
- 高橋 和樹（ボッチャ混合ペア）
- 銅メダル 倉橋 香衣、中町 俊耶（車いすラグビー）
- 菅野 浩二（車いすテニスクアードダブルス）
- 4位 小久保寛太（陸上男子走り幅跳び）
- 古屋 杏樹（陸上女子1500m）
- 眞田 卓（車いすテニスダブルス）

## 2 聖火リレーの実施

- オリンピック・パラリンピック合わせて、県内ほぼすべての市町村が関わって実施
- ルートには高麗神社や草加松原、蔵造りの町並みなど、県が誇る名所を組み込む
- 世界最古の自転車といわれる陸船車や長瀬ラインくんだりなどを使用したリレーを行い、埼玉の伝統や文化を発信

### （1）オリンピック聖火リレー

- 7月6日から7月8日にかけて、274人のランナーが40市町で全国最長の70.5kmをリレー
- ・川口市・さいたま市では公道でのリレーを中止し、さいたま新都心のセレブレーションで「点火セレモニー」を実施

### （2）パラリンピック聖火リレー

- 8月19日に、134人のランナーが計6.0kmをリレー
- 17市町村が趣向を凝らし、聖火の元となる火を熾す「採火式」を実施
- ・公道でのリレーは全区間で中止し、朝霞中央公園陸上競技場で、「集火式」、代替の聖火リレー、「出立式」を実施



▲陸上競技場で行われた  
パラ聖火リレー

## 3 都市ボランティアの活動

### (1) 選手の歓迎・応援、清掃活動の実施

- 「埼玉のおもてなし」を世界へアピール
  - ・大会期間を通じ86回実施、延べ1,200人が参加
  - ・横断幕や小旗、自作のメッセージボードで選手を歓迎・応援
  - ・会場周辺を清掃し、きれいな埼玉でお迎え
  - ・スロベニア公式Twitterや多くのメディアに取り上げられ、埼玉を広くPR



▲沿道から横断幕や小旗、メッセージボードなどで応援



▲スロベニア公式Twitter

### (2) メッセージ写真による選手の応援

- オンラインでも選手を応援し、大会を盛り上げ
  - ・都市ボランティアのユニフォームを着用し、応援メッセージを記入したボードを持って写真を撮影
  - ・応募をいただいた940枚の写真を、県HPやTwitter、県内14か所の駅前大型ビジョン、デジタルサイネージなどで放映



▲競技会場などで写真を撮影



▲大型ビジョンで放映 (さいたま新都心駅)

### (3) 県内おすすめスポットを紹介

- オンラインで埼玉の魅力を広く発信
  - ・ユニフォームを着用し、観光スポットやグルメなどを県ホームページで紹介



▲お気に入りのスポットを紹介



## 4 海外との交流

### (1) 事前トレーニングキャンプの受入れ

- 9市町で8カ国459人の選手団が事前トレーニングキャンプを実施
  - ・選手団及び受入れた市町の職員から、コロナ陽性者は発生しなかった
  - ・キャンプを行った選手が7個の金メダルを含む24個のメダルを獲得
- 直接触れ合うことができない中でも、育まれた選手との絆
  - ・各地で創意工夫を凝らした交流を実施

市町名	相手国	交流の内容
所沢市	イタリア	フェンシング選手と三ヶ島小学校の児童、早稲田大学の学生、所沢市民等120名以上がオンラインで交流を実施。選手と児童は豆つかみゲームで盛り上がった
三郷市	ギリシャ	走り幅跳びで金メダルを獲得したギリシャのテントグルウ選手から、日本語でお礼の動画メッセージが届く
三芳町	オランダ	女子柔道チームが選手村入村前に全小中学校を巡回し、児童生徒が応援



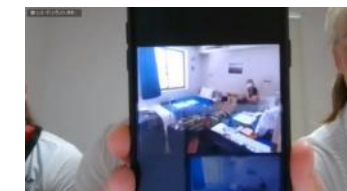
▲イタリア×所沢市  
競歩金メダル パルミサーノ選手



▲児童と交流するオランダ  
女子柔道チーム（三芳町）

### (2) オンライン交流@埼玉の実施

- 埼玉県版ホームステイに代わり、オンラインで安心・安全に交流を実現
  - ・25カ国から選手や関係者延べ248人が参加、延べ255家庭のホストファミリーと交流
  - ・ベネズエラとは、男子バレー日本戦をテレビで観戦しながら、オンラインで応援合戦を実施
  - ・オーストラリアとは、選手村に滞在中のオリンピック柔道選手団と交流。初めてオーストラリアの柔道選手団全員が初戦を突破したとの報告のほか、選手が選手村内の様子を紹介
  - ・ホストファミリーからは和の文化や、埼玉の名所や祭り、グルメなどを紹介し、埼玉の魅力を世界に発信



▲選手村の様子を紹介する  
オーストラリア選手